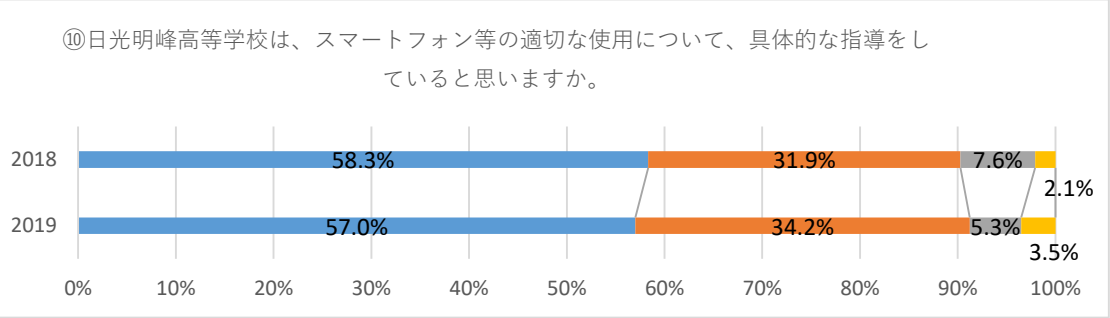
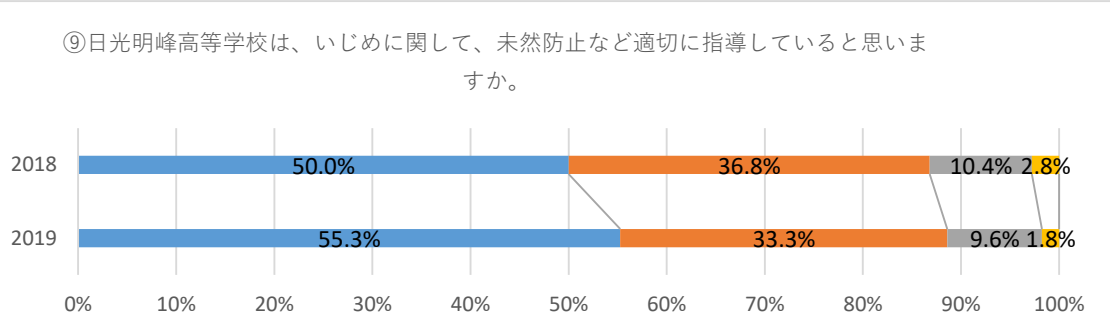
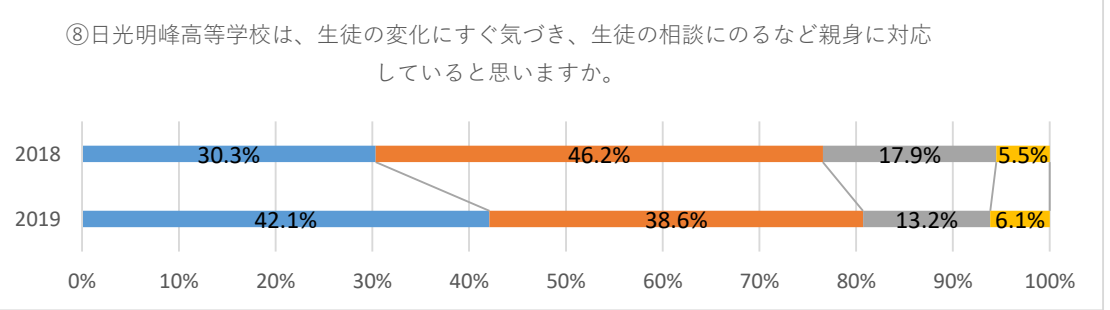
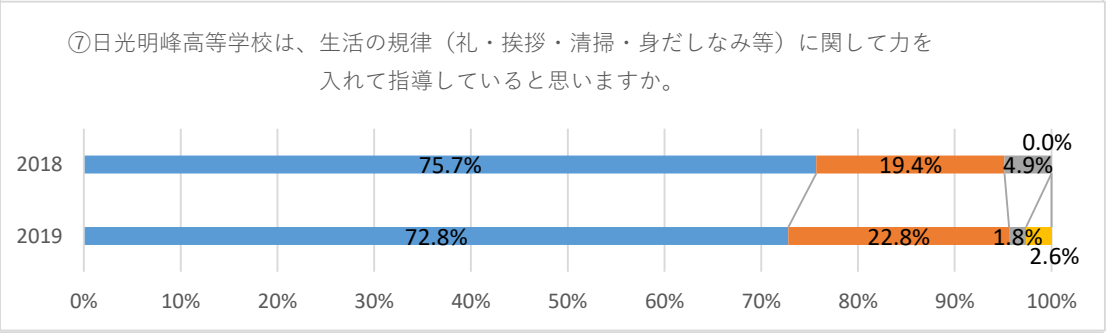
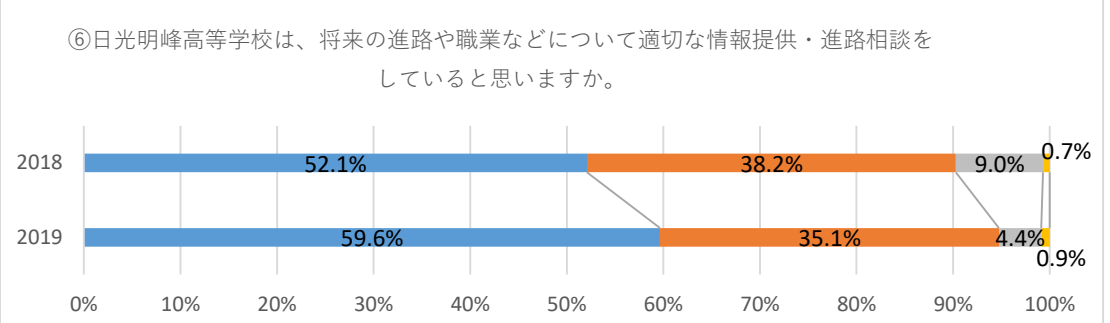
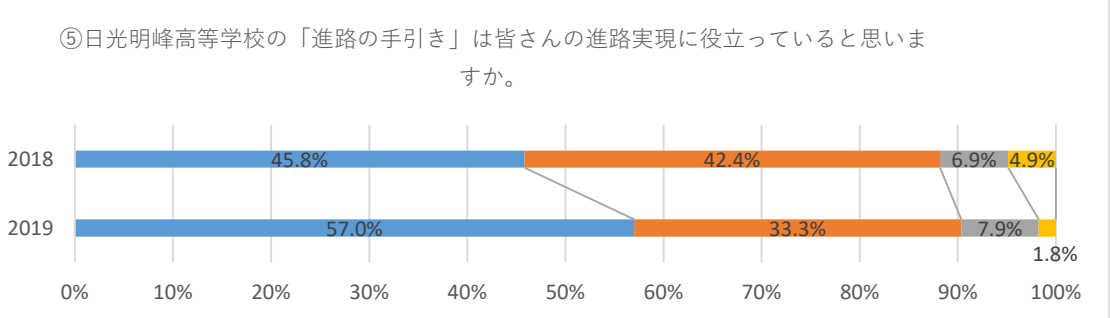
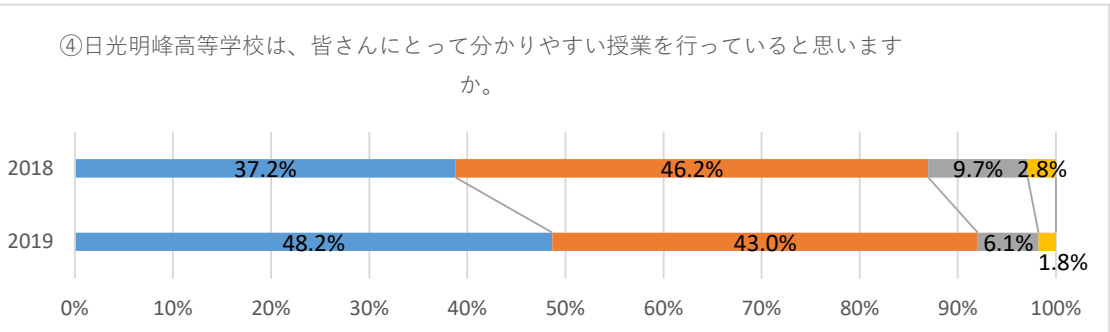
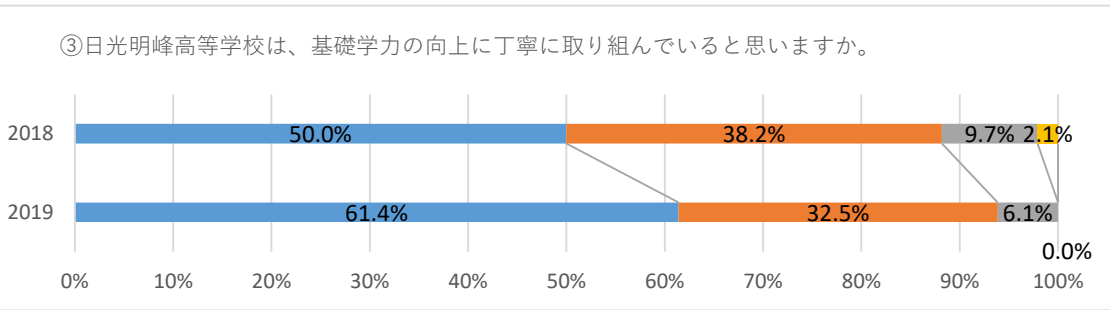
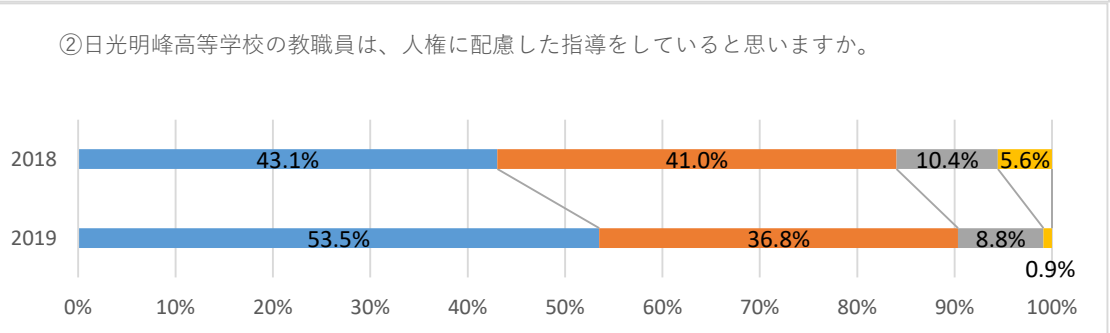
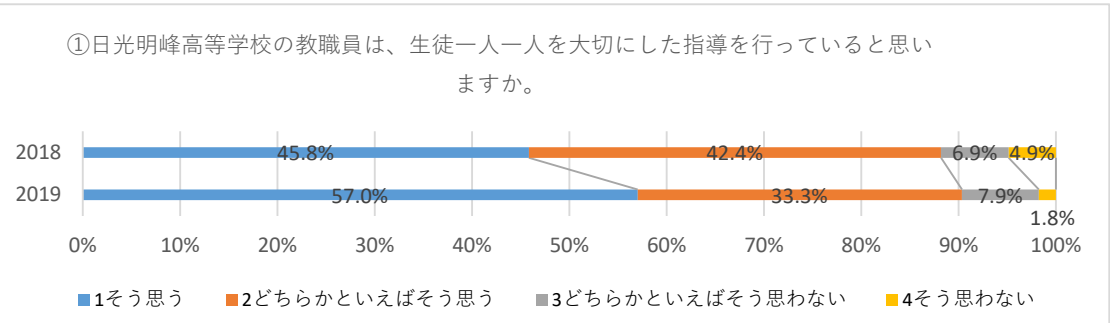
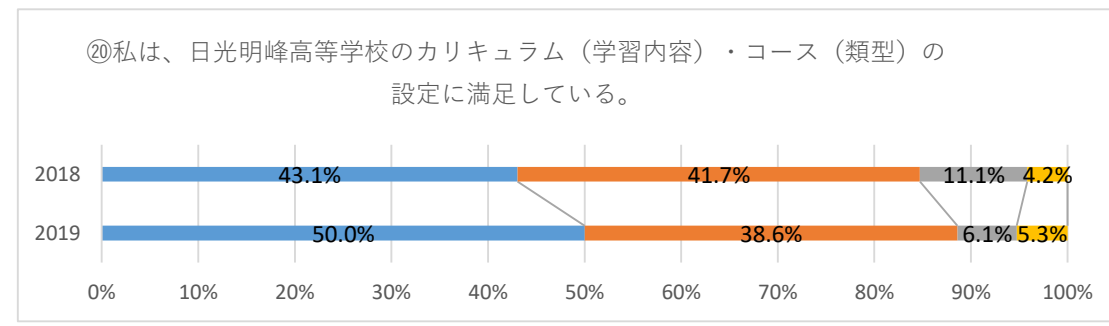
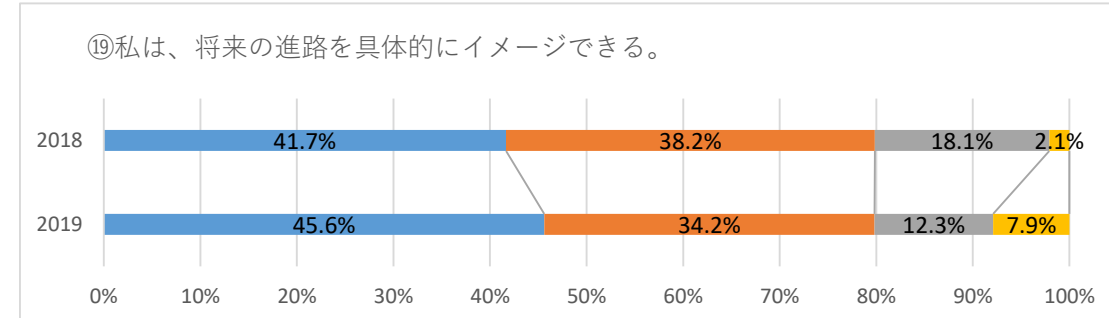
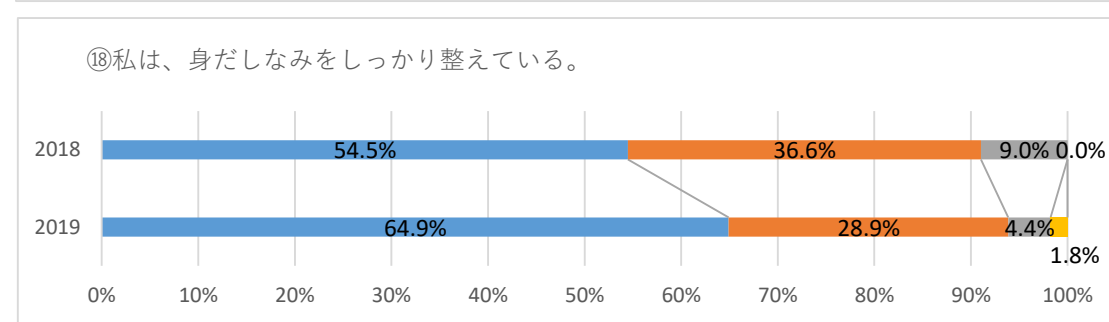
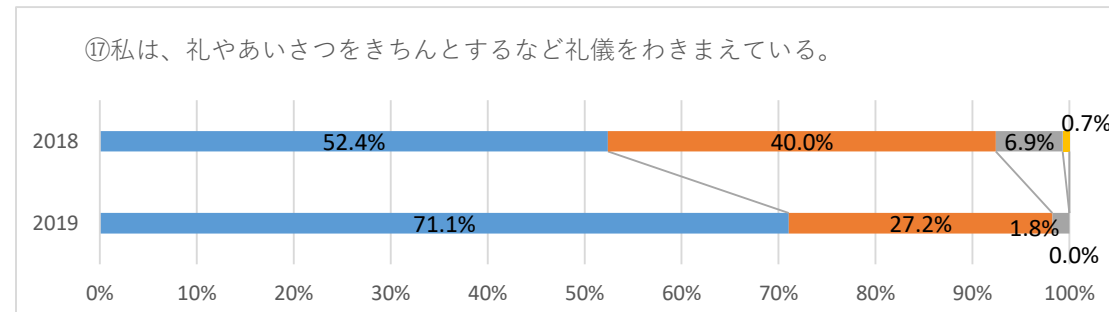
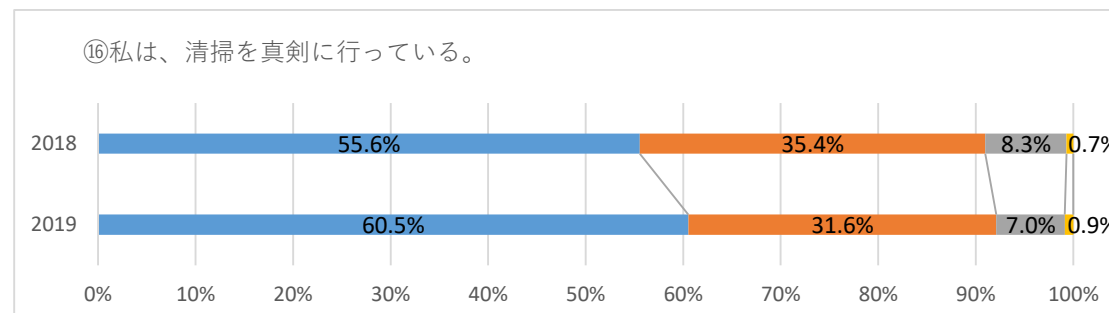
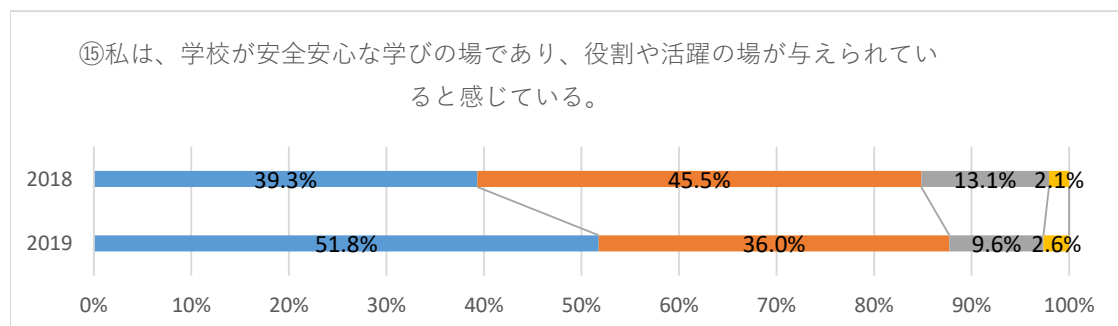
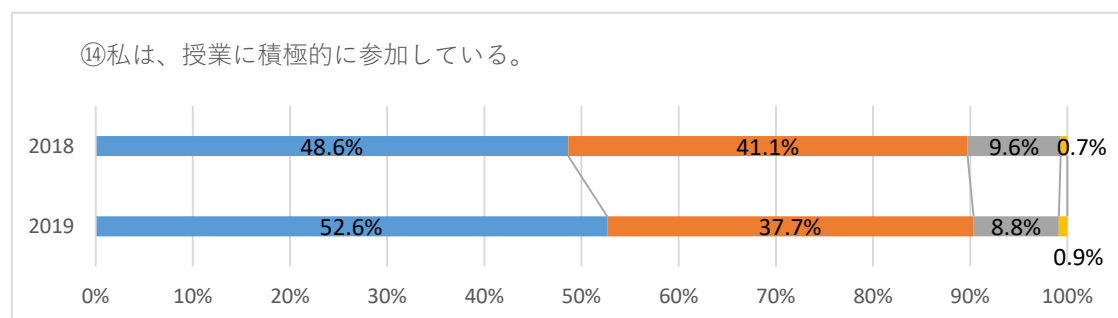
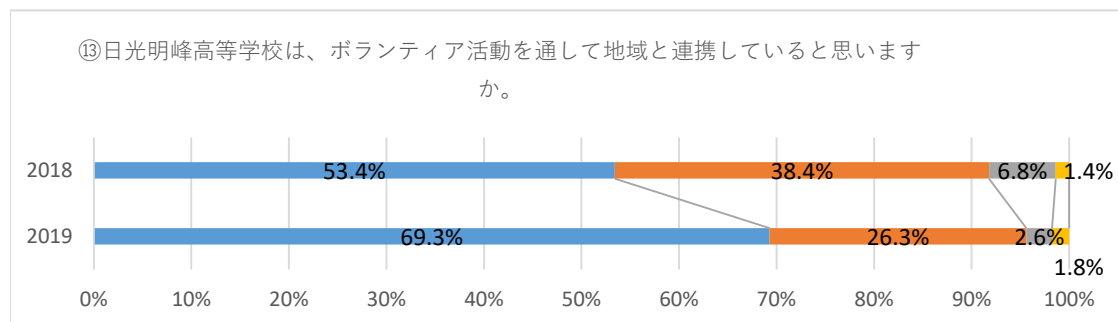
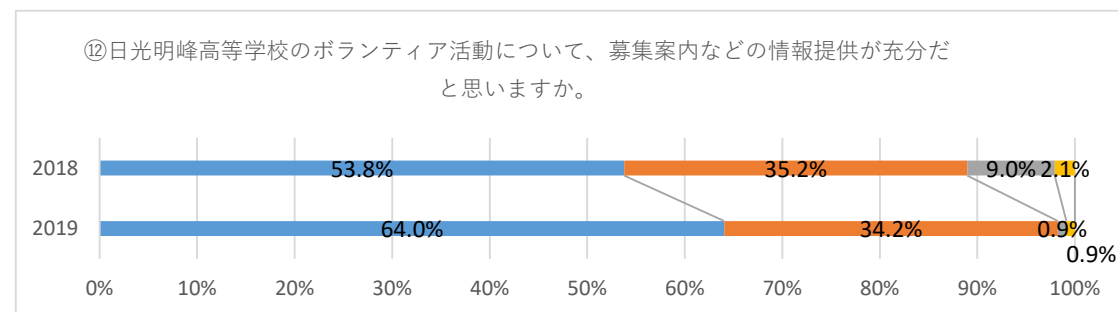
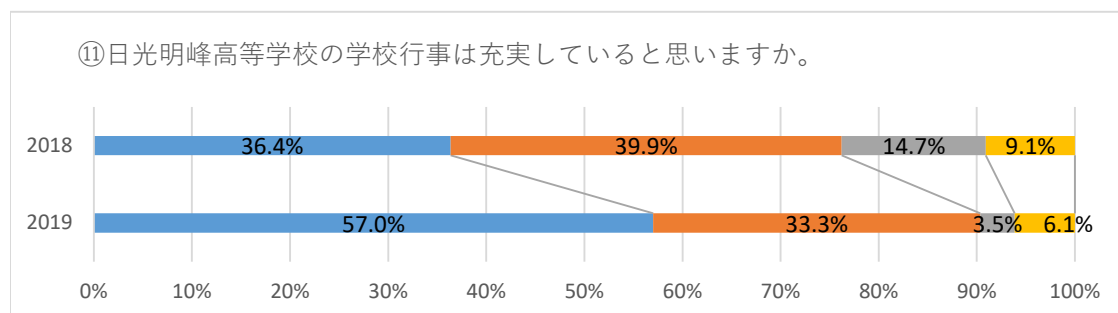
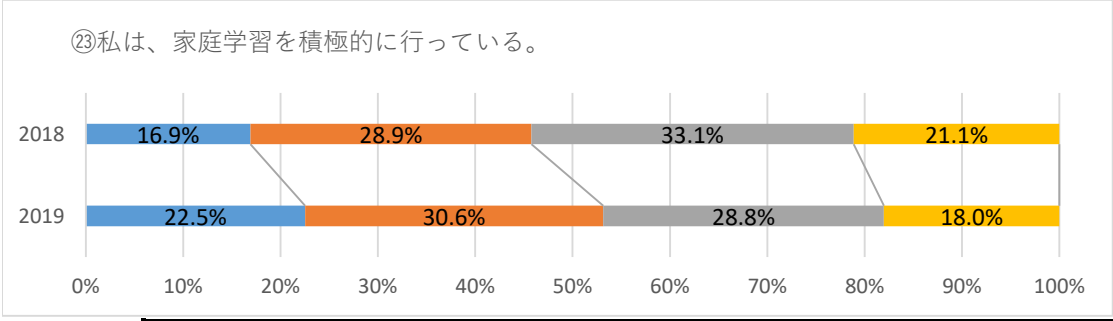
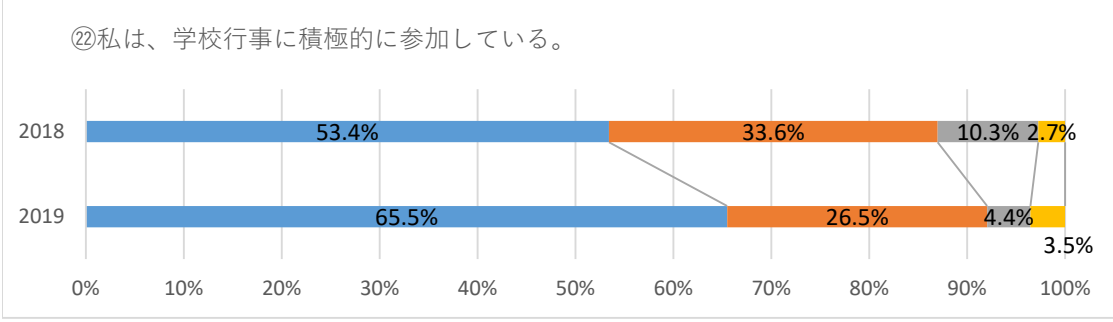
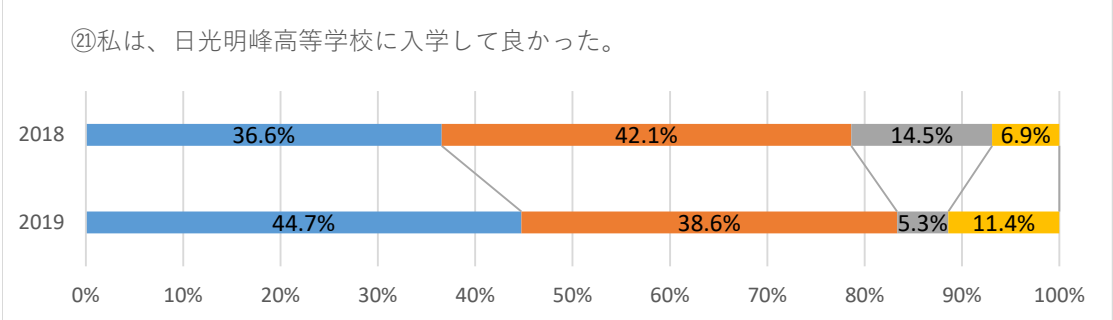


日光明峰高等学校 生徒アンケート 集計と分析

※2019年有効回答数114名（96.6%）、2018年有効回答数146名（99.6%）







【結果分析】

本年度（2019）の結果としては、アンケートの質問項目に対して、全体的に非常に高い評価をいただくことができました。おおむねの質問に対して9割以上の生徒がポジティブな回答をした結果が得られました。昨年度の結果と比較しても、「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」というポジティブな回答の割合がほぼすべての項目で微増しており（⑩「将来の進路」のみ0.1%減）、全体としては喜ばしい結果です。

比較的ネガティブな回答が目立った項目は、⑧「生徒の変化にすぐ気づき、相談にのるなど親身に対応していると思うか」と、⑩「私は、将来の進路を具体的にイメージできる」の2つです。⑧の項目は、保護者アンケートでも同様にネガティブな回答の割合が相対的に見て高かったものです。生徒の実感として、教員の気づきと対応に不十分なところがあるということです。教員は生徒の様子をより頻繁に、より敏感に観察に一層努めます。⑩については、例年一定数「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」の回答が出ています。低学年ほど進路の具体的なイメージはつかみにくいものではありませんが、進路学習や学校行事、ボランティア活動等も活かしながら、3年間を見通したキャリアガイダンスを実施することで、生徒が卒業後も自分の選んだ進路に希望を持って自立的に切り拓いていけるよう工夫ある指導をしていきます。

また、昨年度の比較で気がかりなのは、②①「入学して良かった」に対する「4 そうは思わない」の割合の上昇です。回答数も昨年度10名から今年度12名と増えています。ポジティブな回答割合は上がっている一方で、そのように強く実感している生徒がいることは遺憾であり心配です。学校への評価が割合的には好評な一方で、すべての項目にネガティブな回答が存在していますので、その分の生徒が不平や不満を抱えて学校生活を送っているということを直視して、今後とも生徒にとってより良い学校になるよう日々心がけ、実践します。

対して、最もポジティブな回答が得られたのは、⑦「私は、礼儀をわきまえている」、⑦「学校は生活の規律に力を入れていると思うか」で、次いで⑩「私は、身だしなみを整えている」、③「学校は基礎学力の向上に力を入れていると思うか」です。礼儀・身だしなみ関係は自信を持っている生徒が多く、また、学校の丁寧な生活指導・教科指導も評価されました。

生徒のみなさん、アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの結果を生かし、より良い学校にするため教職員一同努力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



